



編集雑記

既刊案内 (特集・主要記事)

〔11月号〕

◎「シリーズ 次代を担う衛生・環境工学者 No84」高知大学 農林海洋科学部 農林資源環境科学科 准教授 井原 賢氏を訪ねて 化学物質の環境影響解明と下水の公衆衛生情報活用を目指すか つて打ち込んだ生物学が今に活きる…水道ネットワーク通信・有村源介 ◎5年に一度の住まいの満足度・意向調査が12月に 始まります！～14回目となる「令和5年住生活総合調査」にご 協力をお願いします…国土交通省 ◎マンション標準管理委 託契約書を改訂しました…国土交通省 ◎「流域治水プロジェク ト2.0」を策定します～気候変動を踏まえた河川及び流域での対 策の方向性を公表…国土交通省 ◎北海道初の「MIZBE ステ ーション」を新規登録！～河川防災ステーションを地域活性化 や賑わいの創出に活用…国土交通省 ◎令和5年度「生活 衛生事業功労者(水道関係功労者)厚生労働大臣表彰」の受賞者 を決定しました…厚生労働省 ◎流域水循環計画」2計画を公表 し、流域マネジメントを推進…内閣官房水循環政策本部事務局 ◎東京都の環境施策をビジュアルでわかりやすく紹介する 「CREATING A BRIGHTER FUTURE FOR ALL」を作成しまし た！…東京都環境局 ◎令和4年度「技能検定」の実施状況 を公表します～新たに約36万人が「技能士」に…厚生労働省 ◎働き方改革PR動画「はたらきかたスズメ」シリーズ第4弾を公開…厚生労働省 ◎建築物の省エネ性能表示制度のガイドラ イン等を公表しました！…国土交通省 ◎「ダムを見に行こう秋 号2023」～秋の自然を堪能しよう～…国土交通省 ◎全日本中 学生 水の作文コンクール受賞作品が決定！…国土交通省◎～み んなで守る適正取引～請負代金や後期設定は適正ですか？…国土 交通省 ◎「特別インタビュー」設備総合展を振り返って 向山英雄 理事長(東管機商)に聞く…月刊コア編集部 ◎東管機商、設備展 盛況で感謝会ベストプレゼン賞表彰…月刊コア編集部 ◎「明日 への道標」たいまつは自分で持て～藤沢武夫 ホンダのモットー～…(株)日本設備工業新聞社 代表取締役社長 高倉克也 ◎「東京 見て歩き(118)」代官山界隈の開発…(一社)スマート水道推進協 会会長・(株)日本設備工業新聞社顧問 坂本弘道 ◎「特別連載」 平成を偲ぶパロディ狂歌集(54)～平成一人百首 雑⑤(全7首)～弁 護士 野平大魚 ◎「建築着工統計(2023年8月)」…国土交通省 ◎エッセイ西村修一、新田純子

〔12月号〕

◎「シリーズ 次代を担う衛生・環境工学者 No85」同志社大学理 工学部 環境システム学科 教授 赤尾聡史氏を訪ねて 有機性廃棄 物の资源化・付加価値創造を模索…水道ネットワーク通信・有村 源介 ◎日本政府によるウクライナ・インフラ支援 日本原料 (株)の「モバイルシフォンタンク」4基を現地に運転転修で4 人が来日高萩工場で技術習得…水道ネットワーク通信・有村源 介 ◎全管連 水道行政移管に対応 全国で要望活動展開…月刊 コア編集部 ◎五十嵐氏(全管連副会長、東管協組理事)等に 厚生大臣大臣表彰…月刊コア編集部 ◎富士機材 盛大にアル カ・デ・フェスタ開催 東北グループ3社が結束…月刊コア編集 部 ◎KVK 会員400名が集い盛大に全国大会 一層の拡販へ結束 を固める…月刊コア編集部 ◎冬季の省エネルギーの取組につい て…省エネルギー・省資源対策推進会議省庁連絡会議決定◎令 和4年建設業活動実態調査の結果…国土交通省 ◎「新たな循環型 社会形成推進基本計画」の策定のための具体的な指針」(中央 環境審議会意見具申)について…環境省 ◎空き家等を改修 してセーフティネット住宅とする事業者を支援します！…国土交 通省◎令和4年度末の汚水処理人口普及状況について…国土交通省 ◎「ニュースフアックス」橋本管機連会長に旭日小綬章 松本全管 連理事ら旭双の栄誉／令和5年度「生活衛生事業功労者(水 道関係功労者)」に表彰状 春田満雄氏(前澤工業(株))、池田和 隆氏(株)アンドオンら ◎「PRESS RELEASE」工学研究員 の北島正章准教授が選出 ◎「明日への道標」 労を惜みず努力 する～ウェッジウッドの恵み～…(株)日本設備工業新聞社 代表 取締役社長 高倉克也 ◎「東京見て歩き(119)」上野の旧岩崎邸庭 園にちなんだ…(一社)スマート水道推進協会会長・(株)日本設 備工業新聞社顧問 坂本弘道 ◎「特別連載」平成を偲ぶパロディ 狂歌集(56)～平成一人百首 雑⑥(全7首)～弁護士 野平大魚 ◎「建築着工統計(2023年9月)」…国土交通省 ◎エッセイ西村 修一、新田純子

干支は古代中国の陰陽五行説に由来している。万物は陰と陽の相反する事象からなり、木、火、土、金、水の五つの要素で構成されているという。もともと干支は年、月、日、時間、方角、天体などを示すために使われてきた。今年の干支である辰は十二支のうち五番目にあたる。

十二支にはそれぞれ固有の動物が割り当てられている。辰＝竜は唯一の想像上の生きものだ。英語やフランス語でドラゴンと呼ばれ、西欧では暗黒の化身として伝説化されている。しかし中国では麒麟、鳳凰、亀と共に四霊と尊ばれ、天空の雲を呼び、雨を降らせ、五穀豊穡をもたらす天子の象徴として神聖視されてきた。

日本でも竜は『古事記』や『日本書紀』に登場し、竜神、竜王、竜宮などの呼称で全国各地に祀られている。わたしは目黒不動尊・瀧泉寺の手水舎で口から水を噴き出している彫像の竜を見た。竜は日照りのときの救世主として農山村の人々は竜神が住むという沼や淵で雨ごいを行い、漁村では竜神に豊漁を祈願した。

登竜門という言葉は中国の黄河にある激流の渓谷・竜門を登りきった鯉が竜に生まれ変わったという故事から生まれた。日本ではいわゆる鯉の滝のぼりとして立身出世の代名詞になってきた。わたしは個人的な栄達を追い求める鯉よりも大地を恵みの雨で潤す竜に惹かれる。さまざまな難題が渦巻く新年は世界的な転機の年かもしれない。登竜門には本来、難関を突破し、新たに飛翔するという意味が込められている。(高倉)

給排水・衛生・環境設備の総合誌

月刊「コア」第410号

令和6年1月10日発行 定価1,000円(税別)

発行編集人 高倉克也

印刷所 (株)日本設備工業新聞社出版事業部

発行所 〒150-0031東京都渋谷区桜丘町10-13

(野元第1ビル)(株)日本設備工業新聞社

TEL (03) 3496-4774(代)

FAX (03) 3464-1884